

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 老花家

目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 01月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	開設9カ月目で、利用者と人間関係が出来てきたので、家族と信頼関係を築く努力をして、利用者とホームと家族が介護を通じて、なんでも本音で話し合える関係を築いていく。	家族が、利用者に何時でも会いに来てもらえる環境を整え、家族同士が気楽に話し合える、行事に参加してもらい、職員一人ひとりと、家族の関係を大切にしていける。また、利用者の暮らし振りや、健康状態をホーム便りに記録し、家族に定期的に届け、遠方の家族とも連携を図っていく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回、併設施設と合同で、避難訓練を実施しているが、2～3分で駆けつける職員が、2名いるので安心して、地域の方との協力体制が出来ていないので、今後の課題としていく。	非常災害時の地域住民の協力体制は不可欠であり、協力要請を運営推進会議を通じて行い、電気、ガス、水道等が、使用不可の場合の、非常用食料、飲料水、毛布等の備蓄の用意をしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。